

24/10/22 令和6年度第1回名古屋市公共事業評価監視委員懇談会
名古屋市民オンブズマンによるメモ

13:27

平松：はじめる 住宅都市局 企画経理課

目的、

2か所現場視察

出発 15:15 予定

市役所到着 17:20 予定

山田：緑政土木局企画経理課長

国土交通省 評価対象事業 評価する際

透明性、客観性、公正性

公開の場

ご提言を反映させたい

忌憚のない意見を

平松：委員紹介 5人

今年度より宮崎先生と村瀬様

座長 推薦

岸田：：今回鈴木先生推薦したい

平松：よいか

拍手で承認

鈴木座長：よろしく

日程、運営

平松：資料3 今年度3回予備日も

4.5ページ 要綱

11ページ 6つの事業

6ページ ・社会資本整備

・国土交通省

市の評価をチェックしていただく

社会資本整備総合交付金 柔軟に使える交付金

都市整備再生交付事業 事業

8 ページ 市の評価を確認いただく、ご提言を
6 ページ 国土交通省 長期未着工、長期継続 見直し
中止をするなど
11 ページ 6 事業
13 ページ以降 概要説明
第 2 回、第 3 回 事後評価確認したいことを
現地視察 中村区役所、北区城北荘建て替え

鈴木座長：質問は

岸田：基本的なこと
評価の前
市がやっている どの部署で何人くらいで
評価は誰がしているか

平松：11 ページ 各所管課がやっている

岸田：ほかの人は評価にかかわっていない

鈴木座長：そのほかは
個別の議論の前に説明
具体質疑は 2, 3 回
持ち時間は各事業 12 分程度

村松：住宅都市局
15 ページ 次期計画予定されていない 終了後
次期計画予定 最終年度
事後評価シート→第三者機関→公表→フォローアップ

山岡：住宅都市局都心まちづくり課
都市再生整備計画関連事業
概要
交付金の交付
・都市構造再編集中支援事業（個別補助金）
・まちなかウォークブル推進事業（社会資本整備総合交付金）

○：スポーツ市民局

星：スポーツ市民局区政課
中村地区都市再生整備計画
3点・公共施設等再編
・交流拠点
・災害時避難場所
20ページ 目標設定
21ページ
22ページ

鈴木座長：質問は

岸田：もう少し分析した中身 分かりやすく
これがここにいった
19ページ 課題、目標
21ページ
これとこれがこちら 分析 つながっている
わかるような資料があれば

星：相関関係がわかるように

岸田：これができれば課題がこうなる

星：次回懇談会で資料を出す

岸田：従前と目標値
根拠があると思う 資料があれば

鈴木座長：数値の根拠の資料
3つの指標 経緯をわかるように
次の事業
栄・伏見・大須地区（第2期）都市再生整備計画

13:57

山岡：住宅都市局都市まちづくり課長

石黒：住宅都市局都市まちづくり課

29 ページ

- ・公共空間を
- ・交通サービスの充実
- ・放置自転車

30 ページ 目標

31 ページ

32 ページ 33 ページ

栄ミナミまちづくり株式会社

錦二丁目エリアマネジメント株式会社

令和5-6年度 プリンセス道路 歩道拡幅+自転車駐輪場

14:04

鈴木座長：質問は

宮本：目標値 どういう問題から解決

明確に分かる資料を

どうしてこの目標値がでてくるのか

シェアサイクル 放置自転車 どういう関係か

山岡：資料を出す

宮本：放置自転車の目標値があまりかわっていない

なぜ変わっていないのか

石黒：出す

鈴木座長：どこの話 どの範囲 どの路線

効果があったのかなかったのか 定義

山岡：広い

歩行者通行量 どこなのか次回説明したい

鈴木座長：そのほか

村瀬：指標 他も検討したのでは

なぜ3つなのか

山岡：栄の特徴 面的に広がっている商業連携
歩道空間に歩く
憩い、くつろいでもらえる
パンフがあるが、どのくらい人が座っているか
カウントするのは難しい 設定しても指標としてデータがとりにくい
この3つを選んでいる

宮本：放置自転車台数 どういう風にデータをとるのか

山岡：了解

鈴木座長：結果を出すのも重要

宮崎：通行量 休日をとるのも大事
平日は？
複合して 設定をどうしているのか
にぎわい ウォークブル 栄 地下街広い
とらえ方 私が整理できていない
にぎわい？ どうすると設定する？

鈴木座長：成果目標のベースをしっかりと
従前値と目標値
なぜここと比較しているのか

石黒：第2期
第1期から引き続き

鈴木座長：最終的にこういう風にしたい
目標値は
第1期の時は最終まであったか？

石黒：確認

鈴木座長：そこが背景にある？

岸田：官民連携 株式会社と
できれば30ページ 市と株式会社 やったことを教えて

石黒：官の方で歩道拡幅
場所に駐輪場など設置 ウォークابل

岸田：次回

鈴木座長：次回ご説明を
次の事業 41 ページ 中川運河
14：16

伊藤：住宅都市局名港開発振興課
中川運河再生計画
後半 10 年取り組み
にぎわいゾーン
名古屋駅から徒歩圏内
物流倉庫から商業施設へ
堀止より南は遠い
水辺に近づけないところも
水空間の整備
・水辺の回遊性確保
・広域から人を呼ぶ
44 ページ 目標値 休日 1 日 150 人 平日 50 人
テラス 1 日 100 人
46 ページ

14：23

鈴木座長：質問は

宮崎：水辺に来てほしい 階段用意
スロープは？
いろんな利用者 階段だけ設置？

伊藤：ウォークابل プロムナード 行政（名古屋港管理組合）で整備
ビレッジが民間
民間へ直接補助 50%

宮崎：民間だからそこまで

アジアパラ ハンディがある人
ウォークブル 国の事業
そこまではいけない？
移動するときに、いろんな方がいる
民間ではあるが、こういうことをしてほしい
たまたま見た
どんどんいろんな施設 バリアフリー化
健常者も、いろんな人がいる

伊藤：今回計画 バリアフリー大事な観点
できる限り考えてはいる 計画を作って整備
業者の費用負担 計画だいぶん変更した
水辺空間 都市整備
今後の官民連携

岸田：だから あえて市と担当する民間 連携どうなっているか
話し合いがどのようになされているか 仕組み
オープンにできるならして
どういう話し合いがなされてきたか
バリアフリー気になっている

伊藤：資料を出す

村瀬：入札で事業者が決まる？
市からバリアフリー 人が集まること
こういう事業をやります 評価して決める
会社が出てきた？
そもそも前提 事業者から「こういうことをやります」評価？
事後評価？ 違う__

伊藤：もともと物流の倉庫
にぎわい施設に転用したい 見直し、ハード整備
愛知ドビー レストラン展開されている
施設ができる 行政 プロムナード ウォークブル
開発のところ

鈴木座長：事業全体、時系列の整理が分かりにくい

45 ページ 関連事業書いてある
どういう時点で
48 ページ 指標6つ→今回3つ
全体像教えてほしい
50 ページ 終了時期と目標記事が違う
次回教えて

伊藤：事業年次と関連事業

14：34

鈴木座長：道路ネットワーク整備

むねおか：緑政土木局道路建設課

57 ページ 概要

32%短縮

58 ページ以降 熊野豊明線

滞留長を25%短縮

安全歩行者空間

61-62 ページ

14：41

鈴木座長：質問は

58-60 ページルート図

57 ページ効果

32% なのが32% すべて？ 考え方と図との関係

岸田：滞留長とは 距離？

緑政土木局道路建設課：青になった瞬間に車が並んでいるかの距離 メートル

岸田：動き出す前の

緑政土木局道路建設課：そう

鈴木座長：定義を

64-65 ページ事業リストと目標の関係

どういう関係か 説明を

例示はわかるが

緑政土木局道路建設課：① 計画策定時点であった上から4路線 64ページ

②下から2つめ

③下から3つめ

鈴木座長：評価案件 4つあるが3つ？

緑政土木局道路建設課：ルートは3つ

59ページ 2つある

鈴木座長：評価対象で目標がどれか対応を

69ページ 地域居住機能再生推進事業

14：47

山岸：住宅都市局住宅整備課

71ページ 戸田明正地区、名城東地区

市営・公営住宅建て替え

市営戸田荘

名城東地区 建設後40年過ぎ

市営住宅の図

大杉荘→柳原荘に集約

14：55

鈴木座長：質問は

岸田：71ページの図 大きいのを

山岸：次回までに

鈴木座長：事後と途中 混ざっている

再評価と事後評価を示す？

山岸：令和元年度再評価

5年を経過した 今回経過した

鈴木座長：再評価？

山岸：そう

鈴木座長：完了したのものも再評価？

山岸：順次建て替え 終了したものも
地区を定めて順次建て替え
工事が完了した住宅も含まれる

鈴木座長：評価の考え方を入れてくれる
77 ページ 堀川事業間連携

14：58

岩倉：緑政土木局河川工務課

堀川 矢田川から暗渠 名古屋城から海へ
10年確率降雨 1時間63ミリ洪水を安全に
豪雨災害激甚化

内水氾濫 平成20年8月豪雨 床上浸水156戸
東海豪雨級にも対応

瓶屋橋-巾下橋

80 ページ 事業期間 2019-2023年

事業効果 東海豪雨級でも対応

81 ページ 事業申請時 107億1400万円 国費53億5700万円

事業区間内 掘削工、護岸工

下水連携 ポンプ所、雨水管

83 ページ 事業評価堀川場所

15：04

鈴木座長：質問は

宮本：浸水2割減る どこ？

岩倉：堀川の上流域 志賀本通、平安通、ナゴヤドーム前

宮本：人通りが多いところ？

岩倉：そう

鈴木座長：どこかを図に入れてほしい

岩倉：次回資料で

鈴木座長：そのほかは
位置づけ 2023年度 終わった評価？

岩倉：事後評価

鈴木座長：どこの事業かわかるように
数値 算出根拠

岩倉：承知

岸田：図を書いていたいている 詳しく
赤とか緑 どこ？

15:07

鈴木座長：以上
時間が超過した
事務局に戻す

平松：中村区役所
建て替え前と建て替え後
1階に集合
皆さん集まったら

15:08

鈴木座長：3分で説明はスケジュール上無理
質問9分取れない